出来形図管理基準

出来形管理基準

出来形管理: 工種	堡华	測定基準	規札	各値 (mm)	合格判定
布設土工	A H	深 (50mごとに1箇 所の割合を最		+30以内	全箇所満足しなけれ
(掘削)	A	小回数とする	幅 (A)	-50以内	ばならない
		50mごとに1箇 所の割合を最 小回数とする	巻き立て厚さ	+40以内	
保護砂		「中国教とする」 「日報(mm) 50 75・100 150 200 250 300 400 450 500 600 700	(t) 仕上厚 250 300 350 400 450 500 600 650 700 800 900	(t´) 巻き立て厚 290 350 400 460 520 570 680 740 790 890 940	- - 全箇所満足しなけれ - ばならない - -
埋戻工	D H h	50mごとに1箇 所の割合を最 小回数とする	仕上 が 厚さ	基準面より ±30以内	全箇所満足しなけれ ばならない
管の布設	H	50mごとに1箇 所の割合を最 小回数とする	深さ (H)	±30以内	全箇所満足しなけれ ばならない
		管長を測定する	延長 (L)	-200以内	

工種	測定箇所	測定基準			見格値(m	nm)			合格判定
管の接合 	ボルトの締付トルク	継手箇所毎	1. K型・NS型 呼び径	きす。P- ・ルクは :具(特	径 の 径 う し 1セッ、G 100N・m	ì、押	全しならあれている。		
	胴付間隔	継手箇所毎	1. K型継手 呼び径	での間 L1 (mm) 165 170 195 230 240 240 245		B (mm) 72 72 101 122 124 124 127	許容胴f (mn 20 32 B-Y (mm) 27 27 41 53 54 53)	全 歯 が は な ら な に な に に に に に に に に に に に に に

工種	測定箇所	測定基準		規格値(mm)		合格判定
工種 の接 合	測定簡所	測定基準	y1:両挿口端のを (挿口挿入量) 呼び径 ゆ75 ゆ100 ゆ150 ゆ200~250 ゆ300 ゆ350 ゆ450 X1:異管受口(** X2:直管呼び径 の75 ゆ100 ゆ150 ゆ200~250 Y:標管端~1 B:ライ	L (mm) 80 85 100 150 160 165 2本目の白線まで 漂準間隔 X1 (mm) 154 164 170 178 141 141 143 143 への挿口挿入量 ライナ装着時)へ	X2 (mm) 140 145 154 154 154 178 186 189	合格管けい版析満ば足なしら
			L´∶1本目の白á	線∼2本目の白線 ₹	までの間隔	

工種	測定箇所	測定基準		規格値	直 (mm)				合格判定
管の接合	胴付間隔	継手箇所毎	(継ぎ輪) 呼び径	(mg g g g g g g g g g g g g g g g g g g	(1 mm) 54 64 70 78 41 43 43 描	への挿 B (mm) 74 74 99 99	X2 (mm) 140 145 154 178 186 189 189 □ 挿入 □ 挿入)))))) ; ! !	全なな

工種	測定箇所	測定基準		規格値(mm)		合格判定
管の接合	胴付間隔	継手箇所毎	y1:両挿口端のを (挿口挿入量) 呼び径 ゆ75 ゆ100 ゆ150 ゆ250 X1:異形管受口を	X1 (mm) 136.5 137.5 142 144 145 145 つの挿口挿入量 ライナ装着時) 143 62 145 65 163 83 173 82 173 83	X2 (mm) 130. 5 136 147 156 157	全なな 全なない 一 に に に に に に に に に に に に に

呼び径 許容角度 寸法差X (mm) (cc	リ偏位 m) m/4m m/4m m/5m m/5m m/6m m/6m m/6m m/6m
呼び後 許容角度 寸法差X (mm) (cc	m) m/4m m/4m m/5m m/5m m/5m m/6m m/6m m/6m
Ø100 5°00′ 10 35c Ø150 5°00′ 15 44c Ø200 5°00′ 19 44c Ø250 4°10′ 19 36c Ø300 5°00′ 19 52c Ø350 4°50′ 31 50c Ø400 4°10′ 31 43c Ø450 3°50′ 31 40c X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) 2. NS型継手 呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c) Ø75 4°00′ 6 28c Ø100 4°00′ 8 28c	m/4m m/5m m/5m m/5m m/6m m/6m
Ø 150 5° 00′ 15 44c Ø 200 5° 00′ 19 44c Ø 250 4° 10′ 19 36c Ø 300 5° 00′ 19 52c Ø 350 4° 50′ 31 50c Ø 4400 4° 10′ 31 43c Ø 450 3° 50′ 31 40c X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) 2. NS型継手 呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c Ø 75 4° 00′ 6 28c Ø 100 4° 00′ 8 28c	m/5m m/5m m/5m m/6m m/6m m/6m
ゆ200 5°00′ 19 44c ゆ250 4°10′ 19 36c ゆ300 5°00′ 19 52c ゆ350 4°50′ 31 50c ゆ400 4°10′ 31 43c ゆ450 3°50′ 31 40c X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) 2. NS型継手 呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c) ゆ75 4°00′ 6 28c ゆ100 4°00′ 8 28c	m/5m m/5m m/6m m/6m m/6m
ゆ250 4° 10′ 19 36c ゆ300 5° 00′ 19 52c ゆ350 4° 50′ 31 50c ゆ400 4° 10′ 31 43c ゆ450 3° 50′ 31 40c X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) 2. NS型継手 呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c) ゆ75 4° 00′ 6 28c ゆ100 4° 00′ 8 28c	m/5m m/6m m/6m m/6m
ゆ300 5°00′ 19 52c ゆ350 4°50′ 31 50c ゆ400 4°10′ 31 43c ゆ450 3°50′ 31 40c X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) 2. NS型継手 呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c ゆ75 4°00′ 6 28c ゆ100 4°00′ 8 28c	m/6m m/6m m/6m
ゆ350 4°50′ 31 50c ゆ400 4°10′ 31 43c ゆ450 3°50′ 31 40c X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) 2. NS型継手 呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c ゆ75 4°00′ 6 28c ゆ100 4°00′ 8 28c	m/6m m/6m
	m/6m
X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右) 2. NS型継手 呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c) φ75 4°00′ 6 28c φ100 4°00′ 8 28c	m/ bm
呼び径 許容角度 寸法差X (mm) 1本当(c) φ 75 4° 00′ 6 28c φ 100 4° 00′ 8 28c	
中の性 計谷角及 引法差 (mill) (c	
$\phi 100$ 4° 00′ 8 28c	
	m/4m
	m/4m
· ·	m/5m
	m/5m
	m/5m
, ,	m/6m
50.拉入 按三时表向弗以及帝 姚子族的左	m/6m
	m/6m
	m/6m
	m/6m
	m/6m m/6m
X:受口端面から白線までの間隔差(上下または左右)	<u>.,,</u>
3. GX型継手	<u></u> り偏位
	m/4m
	m/5m
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	m/5m
,	m/5m

				Lite dela								単位	: mm
		個々の		格値 10個の測算	走値の平均	-							
エ 種	測定項目	中規模	小規模	中規模	10) 小規模	測	定	基	準	測	定	箇	所
	基準高▽	以上 ±40	以下 ±50	以上	以下 -	基準高は延長 中心線及び端						は、管理	図等を描い
	厚さ	-45	-45	-15	-15	毎に1ケ所を排 80m毎に1ケ所 計図書の測点	屈り起こし の割に測	ノて測定。 定。ただ	幅は延長 し、幅は設	た上での管理 工面積が10, 層及び表層	理が可能な .000㎡以上	工事をい あるいは	い、舗装施 使用する基
アスファルト舗装工	幅	-50	-50	-	-	で測定するこ ※厚さは、下	とができ	る。		以上の場合	が該当する 事とは、中	。 規模以上	の工事より
(下層路盤工)						- 場合は原則と 3点で測定する	して道路 る。	中心線、	両端部の計	に反映でき の施工が数 かに該当面積 ②使用する。 量が500t以 厚含さは、何	る規模の工る 日連ものののが 基本のののが 基本のののが 基本のののが 基本のののが 基本ののの を を を を を を の の の の の の の の の の の の	事場うと暦満値しいで、00合 間がないのでのででである。10.00 間がないです。10.00 間がないのかできます。10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は、10は、	、 同 の の が 未 総 物 の 個 は り 個 ら り に り 個 り し り の り の も 、 し の り し り し り し り し り し り し り し り し り し
	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅は延長80má 車線200m毎に ただし、幅は	1ケ所を振 設計図書	型り起こし の測点に	ンて測定。 よらず延長		足しなけれ データ数が	ばならな 10個未満	い。ただ
アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤エ	幅	-50	-50	-	-	80m以下の間隔 ※厚さは、下 場合は原則と 3点で測定する	がり寸法 して道路	管理も可	とし、その	定値の平均	は適用しな	iv.	
	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅は延長80má 1000㎡に1個 <i>0</i>	り割でコア	を採取も	もしくは掘		上の工事と		図等を描い
	幅	-50	-50	-	-	■り起こして測 測点によらず ることができ	延長80m以			た上での管理 工面積が10, 層及び表層 以上の場合	000㎡以上 用混合物の	あるいは 総使用量	使用する基
アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工						※厚さは、下 場合は原則と 3点で測定する	して道路 る。	中心線、	両端部の計	小模なの施に施工でが当面する以上でが当面する以上でが当面する以上である。 ・ では、	事とは、のない。 いる日をはのののよう。 はののののののののののののので、 をでいるののので、 は、ののので、 は、のので、 は、いいで、 と、 に、 と、 に、 と、 に、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	規管事場うと層満値し 模理を合。11用がない結いで、0.混 10け 上果い、 00合 個れ	、同一工種 次のの の が 表 に り 個 は と ば な り ば な り に り の り の り 、 の り の り の り る の も 、 し も り も り し り し り し り と り と り と り と り と り と り と
	厚さ	-15	-20	-5	-7	幅は延長80má 1000㎡に1個の ただし、幅は	D割でコア 設計図書	アを採取し の測点に	∠て測定。 よらず延長	とともに、 について満 し、厚さの・	足しなけれ データ数が	ばならな 10個未満	い。ただ
	幅	-50	-50	-	-	80m以下の間隔 ※厚さは、下	がり寸法	管理も可	とし、その	定値の平均	は適用しな	ر۱ _°	
アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)						場合は原則と 3点で測定する	5.						
	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は延長80má 1000㎡に1個の ただし、幅は	の割でコラ 設計図書	ァを採取し の測点に	ンて測定。 よらず延長	た上での管理	上の工事と 理が可能な	工事をい	
	幅	-25	-25	-	-	80m以下の間隔 ※厚さは、下	がり寸法	管理も可	とし、その	工面積が10, 層及び表層 以上の場合:	用混合物の が該当する	総使用量 。	が、3,000t
アスファルト舗装工 (基層工)						場合は原則と 3点で測定する		中心線、	両端部の計	小模なの施に施せている。 ・根は映工該工用の施に施使が多さである。 ・原書のはではである。 ・のでは、現では、現では、現では、現では、現では、現では、現では、また。	いものの、 る規連続ののの で2,000㎡ 基居3,000t表 上3,000t未定	管事場うと層満値理を合。10.22 周瀬 100 日本 10.2 日本 1	- 同一工種 次のいずれ O㎡未満 物の総使用 に9個以上
	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は延長80má 1000㎡に1個 <i>0</i> ただし、幅は	の割でコア 設計図書	ァを採取し の測点に	ンて測定。 よらず延長	とともに、 について満 し、厚さの・	足しなけれ	ばならな	い。ただ
	幅	-25	-25	-	-	80m以下の間隔 ※厚さは、下	扇で測定す	トることだ	ができる。	定値の平均にコアー採取に	は適用しな		= 10.76
アスファルト舗装工 (表層工)	平坦性			3mプロフィル 2.4mm以下直診 (σ) 1.75mm	読式(足付き)	場合は原則と3点で測定する		中心線、	両端部の計	橋面舗装装 損傷を与える 法によるこ	等でコアー るおそれの とができる においては	ある場合 。	り床版等に は、他の方 の項目を省

								単1	位:mm
		IF 5 个		格値 10個の割り	定値の平均				
工種	測定項目	()	-	(X	10)	測 定 基 準	測	色簡	所
		中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下				
	基準高▽	±40	±50	-	-	基準高は延長40m毎に1ケ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは各車線200m毎に1ケ所を掘り起こして測定。幅は延長	中規模以上のコ た上での管理が同	工事とは、管理 T能な工事をし	ハい、舗装施
	厚さ	-45	-45	-15	-15	80m毎に1ケ所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔 「で測定することができる。	工面積が10,000n 層及び表層用混合 以上の場合が該当	る物の総使用』 áする。	量が、3,000t
半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	幅	-50	-50	-	-	※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その - 場合は原則として道路中心線、両端部の計	小規模工事とは 規模は小さいもの に反映できる規模	は、中規模以上)の、管理結 関の工事をいし	果を施工管理 ハ、同一工種
						3点で測定する。	の施工が数日連約	売する場合が [逐当する。
	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは各 車線200m毎に1ケ所を掘り起こして測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長			
	幅	-50	-50	-	=	80m以下の間隔で測定することができる。			
半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工						場合は原則として道路中心線、両端部の計 3点で測定する。			
	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは 1000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘 り起こして測定。ただし、幅は設計図書の	工事規模の考えた 中規模以上のコ た上での管理が同	- - - 事とは、管理	
	幅	-50	-50	-	-	測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工面積が10,000m 層及び表層用混合 以上の場合が該当	fl以上あるいⅠ 合物の総使用』 áする。	は使用する基 量が、3,000t
半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工						※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その 場合は原則として道路中心線、両端部の計 3点で測定する。	小規模工事とは	は、中規模以_)の、管理結婚 後の工事をいし	果を施工管理 ハ、同一工種
							コアー採取につい 橋面舗装等では 損傷を与えるおう 法によることがで	コアー採取に。 それのある場合 できる。	合は、他の方
	厚さ	-15	-20	-5	-7	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは 1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長	維持工事におい 略することができ		生の項目を省
	幅	-50	-50	-	-	80m以下の間隔で測定することができる。 - ※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その			
半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)						場合は原則として道路中心線、両端部の計 3点で測定する。			
	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは 1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長			
	幅	-25	-25	-	-	80m以下の間隔で測定することができる。 ※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その			
半たわみ性舗装工 (基層工)						一条学では、ドルゲリな旨性も同とし、(の 場合は原則として道路中心線、両端部の計 3点で測定する。			
	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは 1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長			
	幅	-25	-25	-	-	80m以下の間隔で測定することができる。 ※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その			
半たわみ性舗装工 (表層工)	平坦性			3mプロフィル 2.4mm以下直討 (σ)1.75mm	読式 (足付き)	- 水戸では、ドかりが広目性もりこと、ての場合は原則として道路中心線、両端部の計3点で測定する。			

												単位	ኔ፡ mm
T 125	工種 測定項目		規格値 個々の測定値 10個の測定値の平均 (X) (X10)					基	進	測		供	ac.
	<i>所</i> 足 垻 日	一块規模 以上	小規模 以下	中規模以上	小規模以下	 	定		*	視り	定	箇	所
	基準高▽	±40	±50	-	-	基準高は延長 中心線及び端 毎に1ケ所を扱	部で測定	。厚さは	各車線200m	工事規模の考 中規模以上 た上での管理	の工事と		
	厚さ	-45	-45	-15	-15	■ 毎に「ケ所をM 80m毎に1ケ所 計図書の測点 で測定するこ	の割に測 によらず	定。ただ 延長80ml	し、幅は設	エー での 管理 工面積が10,(層及び表層用 以上の場合が	00㎡以上 混合物の	あるいは 総使用量	使用する基
排水性舗装工 (下層路盤工)	幅	-50	-50	-	-	※厚さは、下場合は原則と	がり寸法	管理も可		小規模工事 規模は小さい	とは、中 ものの、	規模以上 管理結果	を施工管理
						3点で測定する	5.			の施工が数日			
	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅は延長80m毎 車線200m毎に ただし、幅は	1ケ所を排 設計図書	屈り起こし の測点に	して測定。 よらず延長				
445 -14 A44 6-17 V+	幅	-50	-50	-	-	80m以下の間隔 ※厚さは、下							
排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工						場合は原則と3点で測定する		中心線、	両端部の計				
	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅は延長80m名 1000㎡に1個の り起こして測	D割でコフ 定。ただ	P を採取 = し、幅は	もしくは掘 :設計図書の	工事規模の考 中規模以上 た上での管理	の工事と が可能な	工事をい	い、基層及
	幅	-50	-50	-	-	測点によらず ることができ	る。			び表層用混合 の場合が該当 小規模工事	iする。 とは、中	規模以上	:の工事より
排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工						※厚さは、下 場合は原則と 3点で測定する	して道路			の施工が数日コアー採取に	規模のエ 連続する ついて	事をいい 場合が該	、同一工種 選当する。
										橋面舗装等 損傷を与える 法によること 維持工事に	おそれの ができる	ある場合 。	は、他の方
	厚さ	-15	-20	-5	-7	幅は延長80m年 1000㎡に1個 <i>0</i> ただし、幅は)割でコフ 設計図書	アを採取し の測点に	して測定。 よらず延長	略することが	ぶできる。		
	幅	-50	-50	-	-	80m以下の間隔 ※厚さは、下	がり寸法	管理も可	とし、その				
排水性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)						場合は原則と 3点で測定する	5 .						
	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は延長80má 1000㎡に1個 <i>0</i> ただし、幅は	D割でコフ 設計図書	アを採取し の測点に	して測定。 よらず延長				
	幅	-25	-25	-	-	80m以下の間隔 ※厚さは、下	がり寸法	管理も可	とし、その				
排水性舗装工 (基層工)						場合は原則と 3点で測定する		中心線、	両端部の計				
	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は延長80má 1000㎡に1個の ただし、幅は	り割でコフ	アを採取し	して測定。				
	幅	-25	-25	-	-		扇で測定す	することが	ができる。				
排水性舗装工 (表層工)	平坦性			3mプロフィル 2.4mm以下直記 (σ)1.75mm	売式(足付き)	- ベルテロは、ドム場合は原則と3点で測定する	して道路						

	, ,			1h I+		単位:mm
		Im + +		格値 10個の別	ウはヘモル	-
工種	測定項目	()	測定値 X) I	(X	定値の平均 (10) T	測定基準 測定箇所
		中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下	
	基準高▽	±	50	-	-	基準高は片側延長40m毎に1ケ所の割で測 定。厚さは片側延長200m毎に1ケ所を捌り起 こして測定。幅は片側延長80m毎に1ケ所の
	E +	t<15cm	-30	-	-10	割に測定。ただし、幅は設計図書の測点に よらず延長80m以下の間隔で測定することが できる。
透水性舗装工 (路盤工)	厚さ	t≧15cm	-40	-	-15	************************************
	幅	-1	00		-	点で測定する。
	厚さ	_	-9	-	-3	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは各 車線200m毎に1ケ所を掘り起こして測定。た だし、幅は設計図書の測点によらず延長80m
	幅	-:	25		-	以下の間隔で測定することができる。
透水舗装工 (表層工)						→ ※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その 場合は原則として道路中心線、両端部の計3 点で測定する。
	厚さ	-15	-20	-5	-7	幅は延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは 1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。た だし、幅は設計図書の測点によらず延長80m たし、幅は設計図書の測点によらず延長80m
	幅	-50	-50	-		以下の間隔で測定することができる。 び表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。
グースアスファルト舗装工				Į	Į	■ ※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その 場合は原則として道路中心線、両端部の計3 規模は小さいものの、管理結果を施工管理点で測定する。 に反映できる規模の工事をいい、同一工種
(加熱アスファルト 安定処理工)						の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について
						橋面舗装等でコアー採取により床版等に 損傷を与えるおそれのある場合は、他の方 法によることができる。
			I	T	<u> </u>	##技工事においては、平坦性の項目を省幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは 略することができる。
	厚さ	-9	-12	-3	-4	1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。
	幅	-25	-25	-	-	
グースアスファルト 舗装エ (基層エ)						場合は原則として道路中心線、両端部の計3点で測定する。
(坐/4工)						
	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは 1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。た
	幅	-25	-25	_	-	だし、幅は設計図書の測点によらず延長80m 以下の間隔で測定することができる。
				3mプロフィル 2.4mm以下直割		※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その 場合は原則として道路中心線、両端部の計3
				2.4mm以下直設 (σ) 1.75mm		点で測定する。
グースアスファルト 舗装工	平坦性					
(表層工)						
				<u> </u>		

	1					Ī				単位:mm					
工種	測定項目)測定値 X)		定値の平均 X10)	測	定	基	準	測	定	箇	所		
		中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下										
	基準高▽	±40	±50		-	基準高は延長 中心線及び蛸 毎に1ケ所を	端部で測定	。厚さは	各車線200m	工事規模の考 中規模とは 2,000㎡以上。	、1層あた	- りの施工	面積が		
	厚さ	_	45		-15	80m毎に1ケ所 計図書の測点 測定すること	によらず	延長80ml		小規模とは ファルトの混 るいは施工面	合物の総	使用量が	500t未満あ		
コンクリート舗装工 (下層路盤工)	幅	-	50		-	※厚さは、T 場合は原則と				の測定値が10個に9個以上の割合で規格値 満足しなければならないとともに、10個の 別定値の平均値(X10)について満足しない					
						点で測定する	5.			ればならない 10個未満の場 い。 コア採取につ 橋面舗装等 傷を与えるお	合は測定(いて でコア採)	値の平均1	は適用しな味版等に損		
	厚さ	-25	-30		-8	幅は延長80m 車線200m毎に だし、幅は記	こ1ケ所を担	屈り起こし	して測定。た	によることが		る場合は、	、他の方法		
	幅	_	50		-	以下の間隔で	で測定する	ことがで	きる。						
コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)						場合は原則と	して道路								
_	厚さ	-25	-30		-8	幅は延長80m 1000㎡に1個 起こして測定	の割でコス	アを採取	もしくは掘り	工事規模の考 中規模とは 2,000㎡以上。	、1層あた	:りの施工	面積が		
	幅	-	50		-	点によらず延とができる。	延長80m以⁻				、表層及 合物の総	使用量が	500t未満あ		
コンクリート舗装工 (セメント(石灰・ 瀝青)安定処理工)						- ※厚さは、T 場合は原則と 点で測定する	:して道路			るの満測ればい コ (で規格値を に、10個の で満足し数が は適用しなが は 床版等に損				
	厚さ	-9	-12		-3	幅は延長80m 1000㎡に1個 だし、幅は記	の割でコス	アを採取し	して測定。た	によることが		U-91 LI 16.	C IEO//JA		
	幅	-	25		-	以下の間隔で	で測定する	ことがで	きる。						
コンクリート舗装工 (アスファルト中間 層)						場合は原則と点で測定する	5.								
	厚さ	_	10	-	-3. 5		水糸又は	レベルに 以上測定し	より1測線あ し、幅は延長	2,000㎡以上。	、1層あた とする。				
	幅	-	25	-		80m毎に1ケ所 線毎に版縁か なお、スリッ	vら1mの線 vプフォー	上、全延 -ムエ法の	長とする。 場合は、厚	小規模とは ファルトの混 るいは施工面	合物の総 積が2,000	使用量が り未満。厚	500t未満あ 『さは、個々		
コンクリート舗装工 (コンクリート舗装 版工)	平坦性			プロフィルメ 械舗設の場合	の硬化後 3m 一夕により機 が(σ) 2.4mm以 での場合(σ)	10K 00 / = '7 19K E	m毎に水糸 f方向に3년 il定、打設 il) il) il) il) il) il) il) il) il) il)	又はレベ ケ所以上 後に各車 。ただし	ルにより1測 各盤の基準高 線200m毎に 、幅は設計	の測足に値ない場別には10個に、維持ることができません。	ばならな! 値 (X10) 。ただし、 合は測定(いととも! について 、厚さの [・] 値の平均!	に、10個の 満足しなけ データ数が は適用しな		
	目地段差		:	±2		隣接する各目 端部で測定。		て、道路	中心線及び						
						-									

			規	格値		1		単心·mm							
工種	測定項目	個々の ()	測定値		定値の平均 10)	測	定	基	準	測	定	笛	所		
		中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下										
	基準高▽	±40	±50		_	基準高は延長 中心線及び端 毎に1ケ所を振	部で測定。	。厚さは	各車線200m	工事規模の考 中規模とは 2,000㎡以上の	、1層あた	 :りの施エ	面積が		
	厚さ		4 5	-	15	80m毎に1ケ所 計図書の測点 測定すること	の割に測?	定。ただ 延長80m以	し、幅は設	小規模とは	、表層及 合物の総	使用量が	500t未満あ		
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工)	幅	-!	50		_	※厚さは、下	がり寸法が	管理も可		3 測定値の平均値 (X10) について満足しな					
下層路盤工						点で測定する		が足位の子の場合によっている。 ればならない。ただし、厚さのデータ 10個未満の場合は測定値の平均は適用 い。 維持工事においては、平坦性の項目を することができる。							
	厚さ	-25	-30	-	-8	幅は延長80m毎 車線200m毎に だし、幅は設	1ケ所を振	り起こし	て測定。た						
	幅	-!	50		_	以下の間隔で	測定する	ことがで	きる。						
コンクリート舗装工。 (転圧コンクリート 版工) 粒度調整路盤工				•		場合は原則と点で測定する	して道路								
	厚さ	-25	-30	-	-8	幅は延長80m年 1000㎡に1個の 起こして測定	割でコア	を採取も	しくは掘り	工事規模の考 中規模とは 2,000㎡以上の	、1層あた	:りの施工	面積が		
コンクリート舗装工	幅	-:	50		-	点によらず延 とができる。				小規模とは ファルトの混 るいは施工面	、表層及 合物の総	使用量が	500t未満あ		
コングリート - mim表上 - (転圧コンクリート 版工) セメント (石灰・瀝青) 安定処理エ						※厚さは、下 場合は原則と 点で測定する	して道路に			の測定値が10個に9個以上の割合で規 満足しなければならないとともに、10 測定値の平均値(X10)について満足 ればならない。ただし、厚さのデータ 10個未満の場合は測定値の平均は適用 い。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等 傷を与えるおぞれかある場合は、他の					
	厚さ	-9	-12	-	-3	幅は延長80mg 1000㎡に1個の だし、幅は設 以下の間隔で:)割でコア 計図書の	'を採取し 測点によ	ノて測定。た らず延長80m	によることが 維持工事に	できる。 おいては				
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) アスファルト中間層	幅	-:	25		-	※厚さは、下場合は原則と点で測定する	がり寸法で して道路で	管理も可	とし、その	略することが	できる。				
	 厚さ	-	15	-4	I. 5	厚さは各車線車線200m毎に									
	幅	-:	35	-	_	_ たり横断方向 80m毎に1ケ所 線毎に版縁か	に3ケ所以 の割で測2	(上測定。 定。平坦	幅は延長 性は、各車						
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工)	平坦性			転圧コンクリ- 3mプロフィル (σ) 2.4mm以	メータにより	ただし、幅は 80m以下の間隔	設計図書の	の測点に	よらず延長						
	目地段差		=	±2		隣接する各目: 端部で測定。	地に対し	て、道路	中心線及び						

		規格値								I		半四	: mm		
工種	測定項目		测定值 X)	10個の測定値の平均 (X10)		- 測	定	基	準	測	定	箇	所		
		中規模以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下		~	_							
薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	-	-	基準高は延長 中心線及び端 毎に1ケ所を排	部で測定	。厚さは	各車線200m	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が 2,000㎡以上とする。					
	厚さ	-45		-15		80m毎に1ケ所	の割に測 によらず	定。ただ 延長80mJ	し、幅は設	小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルトの混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000未満。厚さは、個々					
	幅	-!	50		-		して道路			の測定値が10個に9個以上の割合で規格値 満足しなければならないとともに、10個の 別定値の平均値(X10)について満足しな ればならない。ただし、厚さのデータ数が					
						点で測定する	0			ればならない。 10個未満の場 い。					
				ı		hō 나 쟈 톤 90~~	= 1-1 1-50	の割して	□ → (+ A						
	厚さ	-25	-30	-	-8	幅は延長80m毎に1ケ所の割とし、厚さは各車線200m毎に1ケ所を掘り起こして測定。た し、幅は設計図書の測点によらず延長80m 以下の間隔で測定することができる。									
	幅	-!	50		-	以下の间隔で									
薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工						場合は原則と点で測定する	して道路								
	厚さ	-25	-30	-	-8	幅は延長80má 1000㎡に1個 <i>0</i> 」起こして測定	の割でコフ			工事規模の考 中規模とは 2,000㎡以上と	、1層あた	りの施工	面積が		
	幅	-50		-		※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その 場合は原則として道路中心線、両端部の計					合物の総使	用量が5	00t未満あ		
薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安 定処理工						■場合は原則と 点で測定する		中心線、	両端部の計3	ファルトの混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000未満。厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損					
	厚さ	-15	-20	-	-5	幅は延長80m名 1000㎡に1個 <i>0</i>				傷を与えるお [・] によることが		場合は、	他の万法		
	幅	-50			-	※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その 場合は原則として道路中心線、両端部の計3 点で測定する。									
薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)															
	厚さ	-9	-12	-	-3	幅は延長80m名 1000㎡に1個 <i>0</i>									
	幅	-25		-		※厚さは、下がり寸法管理も可とし、その 場合は原則として道路中心線、両端部の計3 点で測定する。									
薄層カラー舗装工 (基層工)															

												単位	ī:mm	
	測定項目													
工種		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)		測	定	基	準	測	定	箇	所	
		中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下									
ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	-	-	中心線及び	は延長40m毎に1 及び端部で測定 所を掘り起こし	。厚さは _ン て測定。	各車線200m	工事規模の表 中規模とは 2,000㎡以上				
	厚さ	-	45	-15			下がり寸法	定。 管理も可とし、		小規模とは、表層及び基層の加熱アファルトの混合物の総使用量が500t未 るいは施工面積が2,000未満。厚さは、				
	中富	_	50		_	場合は原則点で測定す		中心線、	両端部の計3	の測定値が1 満足しなけれ 測定値の平均 ればならない 10個未満の均い。	ιばならな 匀値(X10) ハ。ただし	いととも について 、厚さの	で規格値を こ、10個の 満足しなけ データ数が	
ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚さ	-25	-30	-	-8	車線200m毎	に1ケ所を挑	引り起こし						
	幅	-50		-		※厚さは、 場合は原則 点で測定す	として道路	とし、その 両端部の計3						
ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工	厚さ	-25	-30	-	-8	幅は延長80m 1000㎡に1個 起こして測!	圆の割でコフ		、厚さは もしくは掘り	工事規模の表 中規模とは 2,000㎡以上	ま、1層あ <i>†</i> とする。			
	幅	-	50		_				管理も可とし、その ロ心線、両端部の計3	小規模とは ファルトの混 るいは施工配	00t未満あ			
						点で測定す				の測定値が1 満足しなけれ 測定値の平式 ればならない 10個未満の切い。 コア採取にご	0個に9個以 ればならな 対値(X10) い。ただし 場合は測定 ついて	以上の割合 いととも について 、厚平均 値の平均	合で規格値を に、10個の ご満足しなけ データ数が	
	厚さ	-15	-20	-	-5	幅は延長80r 1000㎡に1個				傷を与える によることだ		る場合は	、他の方法	
ブロック舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	幅	-50			-	→ ※厚さは、 場合は原則 → 点で測定す	として道路		とし、その 両端部の計3					
						T. C. POLE 9	৩ ০							
ブロック舗装工 (基層工)	厚さ	-9	-12	-	-3	幅は延長80m 1000㎡に1個								
	幅	-25		-										
						一 無 C <i>例</i>	°••••							